

ササキ × モリタ WEB セミナー

GPだからできる、～iGo×iTeroが支える包括的アプローチ～
咬合・矯正・補綴をつなぐ診療戦略

配信期間

2025 6/29(日)～10/17(金)

WEB
無料配信

GPが行うべき矯正とは「歯を並べること」ではなく、「咬合を整えること」。

本講演では、矯正専門医ではないGPが、日常臨床の中でどのようにiGoとiTeroを活用し、咬合再構成や欠損補綴と連動した治療設計を行っているかを、具体的な症例とともに紹介します。

iGo導入から数年、さまざまな臨床シーンで応用してきた経験をもとに、矯正未経験でも無理なく始められる運用のコツやケース選定のポイントを共有いたします。明日からの包括診療に役立つヒントをお届けします。

講師



兵庫県尼崎市 オパールデンタルクリニック

下田 徹 先生

ご略歴

1995年 鹿児島大学歯学部卒業
鹿児島大学第一口腔外科 入局
1999年 鹿児島大学附属病院 歯科麻酔科 文部教官助手
2000年 国立療養所星塚敬愛園 歯科口腔外科
厚生労働技官 歯科医長
2001年 国立都城病院口腔外科 併任
2006年 オパールデンタルクリニック開設(兵庫県尼崎市)



invisalign® go

学会活動

日本臨床歯科医学会 (SJCD) 福岡支部 理事
日本口腔インプラント学会
Osseointegration Study Club of Japan (OJ) 正会員
Dental Concept 21 評議員

インストラクター

ノーベルバイオケア NobelGuide プランニング教室 兵庫

近年、インビザラインGo (iGo) は透明なアライナーを用いた部分矯正手法として注目されているが、私たち一般歯科医 (GP) にとっての最大の価値は、単なる歯列の改善ではなく、咬合の安定を目的とした包括的治療の中での活用にある。

当院では2020年にiGoを導入し、5年で症例数は300症例を超えた。現在、年間症例数は兵庫県で第2位、全国でも第13位の実績となっている。これは矯正専門医ではないGPによる活用例として、ひとつの到達点とも言えるのではないかと考えている。

本講演では、矯正専門医ではないGPである私が、日常臨床においてiGoを“咬合再構成ツール”としてどのように活用しているかを紹介する。

アンテリアガイダンスの確保や咬合崩壊の早期介入といった観点に加え、インプラント治療や欠損補綴と連動した治療計画の中でのiGoの役割について、具体的な症例を交えて考察する。

また、iTeroスキャナーは矯正のための装置にとどまらず、補綴治療やインプラント治療における精密な診査・診断・設計に有用な臨床機器であると考えている。咬合接触や歯列アーチの不調和を可視化・評価することで、補綴や矯正を含む治療戦略をより精密に立案することが可能となる。

GPに求められる治療のゴールは、審美的な改善だけでなく、機能的かつ永続性のある咬合の再構築にある。

矯正の専門知識がなくても、iGoとiTeroを戦略的に活用することで、咬合のコントロールを通じて補綴治療の精度と予後の安定性を高めることが可能である。本講演では、GP臨床におけるその実際と可能性を共有したい。

ご参加申込は簡単3ステップ

WEB 配信型セミナーです。お気軽にお申込みください。

Step1

お申し込みはこちら
ボタンよりお申し込み
ください

Step2

登録いただいたメールアドレスへ
ご視聴方法を弊社より配信

Step3

当日ご視聴いただけます

主催 ササキ株式会社 事業推進室

お問い合わせ webmaster@sasaki-kk.co.jp

協催 株式会社モリタ

弊社では本セミナーの参加お申込により取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得る事無く第三者への開示・提供する事は致しません。
弊社での個人情報利用目的は右記の通りです。 1. セミナーお申込に伴うご連絡 2. 弊社からのセミナー・サービスのご案内への利用